

外科・消化器外科

2020年（令和2年1月～12月）

【概要】

本年はなんといっても新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた1年でした。4月から5月にかけて、緊急性、重症でない疾患に対する手術は制限され、12月末には当院でクラスターが発生したため、その対応に追われました。吉田副院長及び田村院長が新型コロナ対策本部に参画し、対策チームの陣頭指揮にあたりました。他のスタッフも、新型コロナウイルス感染症患者の主治医として、あるいはPCR検査などの要員として、存分に力を発揮しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、年間手術件数は550例から491例と約1割減少しましたが、悪性疾患の手術件数は昨年と同程度でした。

スタッフは、4月に外科・消化器外科に浜の町病院より重松慶一医師、呼吸器外科は本多陽平医師の後任に飯塚病院より草薙佳澄医師が赴任しました。呼吸器外科は、吉田順一副院長、井上政昭部長以下4名体制は変化ありませんでした。

上記のとおり、スタッフの布陣も充実し、救急、外科手術、化学療法、緩和医療にいたるがん治療のすべてを担っております。患者さまにとって安全で質の高い外科診療を目指し、日夜、研鑽と教育に勤しんでいます。

本年は新型コロナウイルス感染症の影響で学会活動がweb中心となりましたが、多数の演題、論文を発表しました。

また外科専門医制度については、吉田副院長が産業医科大学病院や九州大学病院の専門研修プログラム連携施設担当者として、症例数の管理などを行っています。当院で外科専門医とその上のサブスペシャリティ領域の専門医（消化器外科専門医、小児外科専門医、呼吸器外科専門医など）が取得できるよう充実をはかり、若手外科医にとって魅力ある病院となるよう努めています。

【週間予定に沿って】

月・木曜日	術後カンファレンスにて、内視鏡手術ビデオを編集したものを全医師で検討し、医療安全の面や内視鏡外科技術医認定資格取得に向けて研鑽しています。
火曜日	診療科・部門横断的にカンサーボードを行い、患者さま中心にがん治療チームとして最適な治療方針を決定しています。
水曜日	朝、化学療法カンファレンスにてその週の化学療法件数を報告し、レジメンの変更の際は個別の症例の紹介を行っています。 午後は外科・呼吸器外科の総回診後、退院支援スタッフカンファレンスを看護師、MSW（医療ソーシャルワーカー）や理学療法士と行い、患者さまの継ぎ目無い（Seamless）退院や転院を図っています。
金曜日	抄読会で最新文献から自己研鑽と全医師への還元を行っています。ま

	た緩和ケアラウンドとチーム会議にて症例検討を行っています。
随 時	標準医療を忌避する例や終末期の倫理的な問題について臨床倫理委員会で検討しています。また研究課題については、文部科学省・厚生労働省ガイドラインに従い、倫理研究委員会で審議を受けています。

救急科では一般外科であれば緊急例の手術を担当しますが、その間の外来は外科チームの医師が補っています。また患者さまに救急→加療→緩和医療と継ぎ目無い診療を提供する体制をとっています。

小児外科医師は、小児外科疾患だけでなく一般外科の疾患も対応します。

【外科と関連科の医師と資格など 令和2（2020）年12月現在】

田中 雅夫	理事長・院長 日本膵臓学会名誉理事長、日本外科学会・日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会監事、アジアオセアニア膵臓学会プレジデント 日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医
石光 寿幸	外科部長・乳腺外科部長 日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本乳癌学会乳腺認定医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本乳がん検診制度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定
大谷 和広	消化器外科部長 日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本胆道学会認定指導医
宮竹 英志	外科医長 日本外科学会外科専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・一般外科）
田村 徹郎	外科医長 日本外科学会外科専門医
持留 直希	外科医長 日本外科学会外科専門医
重松 慶一	外科医師

<呼吸器外科>

吉田 順一	副院長、外科部長・呼吸器外科部長、診療科長（外科・消化器外科・小児外科） 日本外科学会外科専門医・指導医、日本胸部外科学会呼吸器外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本感染症学会
-------	--

	感染症専門医・指導医、日本化学療法学会抗菌化学療法指導医、ICD（インフェクションコントロールドクター）、日本臨床腫瘍学会暫定指導医
井上 政昭	呼吸器外科部長 日本外科学会外科専門医、日本胸部外科学会呼吸器外科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本呼吸器学会呼吸器専門医
近石 泰弘	呼吸器外科医長 日本外科学会外科専門医、日本胸部外科学会呼吸器外科専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
草薙 佳澄	呼吸器外科医師 日本乳がん検診制度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定、日本顕微鏡学会電子顕微鏡2級技師

<救急科>

中原 千尋	救急科部長 日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・消化器がん外科治療認定医
-------	---

<小児外科>

中村 睦	小児外科医師
------	--------

<緩和ケア内科>

牧野 一郎	副院長・緩和ケア内科部長 日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会本胆膵外科名誉指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本緩和医療学会緩和医療認定医
関 千尋	緩和ケア内科医長 日本内科学会認定内科医、日本緩和医療学会緩和医療認定医

【年間手術症例数】令和2年（2020年1月～12月）

			開腹 開胸	鏡視下
消化管及び 腹部内臓	食道	食道切除再建術	0	0
		食道（粘膜下）腫瘍摘出術	0	0
		その他の手術	0	0
		（上記のうち）食道がん切除手術総数	0	0
	胃・十二指腸	胃全摘術	7	0
		幽門側胃切除術	8	5

		噴門側胃切除術	2	1
		胃部分切除術	1	0
		その他の手術	8	0
		(上記のうち) 胃がん切除手術総数	17	6
	小腸・虫垂・結腸	小腸切除・狭窄形成術	4	1
		結腸切除術	15	36
		虫垂炎手術	0	22
		腸閉塞に対する手術	11	0
		人工肛門造設・閉鎖術	10	0
		その他の手術	3	1
		(上記のうち) 結腸がん切除手術総数	10	34
	直腸・肛門	直腸切除術	1	6
		直腸切断術	0	2
		大腸(亜)全摘術	0	0
		肛門疾患手術	2	1
		その他の手術	0	0
		(上記のうち) 直腸がん切除手術総数	1	8
	肝・胆・膵・脾	肝切除術	7	2
		胆のう摘出術	5	54
		総胆管結石症に対する手術	0	0
		膵頭十二指腸切除術	4	0
		膵頭十二指腸切除術以外の膵切除術	2	1
		脾臓摘出術	0	0
		その他の手術	3	0
		(上記のうち) 肝・胆道・膵がん切除手術総数	10	2
	腹腔・腹膜・ 後腹膜	ヘルニア手術	22	1
		その他の手術	14	3
乳腺	乳房切除	16	0	

		乳房温存手術	15	0
		その他の手術	8	0
		(上記のうち) 乳がん切除手術総数	32	0
呼吸器・縦隔	肺・気管・気管支	肺切除術	2	67
		その他の肺・気管・気管支の手術	6	21
		(上記のうち) 肺がん切除手術総数	2	53
	縦隔	胸腺摘除術	0	0
		縦隔腫瘍手術	0	3
		その他の手術	1	0
頭頸部・内分泌	甲状腺疾患に対する手術		0	0
	副甲状腺疾患に対する手術		0	0
	その他の手術		1	0
末梢血管	静脈瘤に対する手術		0	0
	その他の手術		35	0
外傷			2	0

【業績集】

<発表>

開催年月日	演題名	演者	共同演者	学会名	場所
2020.2.19	外科症例のフィードバック研修会			地域医療研修会	下関市立市民病院
2020.2.21-22	術前化学療法中に巨大心房内血栓症を合併した局所進行乳癌の1例	中村睦	石光寿幸 木幡亮 持留直希 田村徹郎 宮竹英志 中原千尋 大谷和広 牧野一郎 吉田順一 田中雅夫	第26回日本乳腺疾患研究会	西日本総合展示場 (北九州市)
2020.8.13	生死を分ける外科 Sepsis-related Organ Failure	吉田順一	井上政昭 石光寿幸	第120回日本外科学会定	Web開催

	Assessment(SOFA)スコアは？ 耐性菌は？8年データから 得る敗血症 Stewardship (適正支援)		中原千尋 宮竹英志 大谷和広 牧野一郎 近石泰弘 田村徹郎 持留直希 本多陽平 田中雅夫	期学術集会	
2020.8.19-21	臨床から論文へ、そして「ガイド ラインに残る仕事」へ： Plan-Do-Check-Act(PDCA)好 循環を	吉田順一	長瀬智信 大谷和広	第 94 回日本 感染症学会 総会・学術講 演会	グランドニッ コー東京台場 Web 開催
2020.8.19-21	マレーシア帰国後に発症 したデング熱の 2 例：早期 診断と感染対策	長瀬智信	大谷和広 吉田順一	第 94 回日本 感染症学会 総会・学術講 演会	グランドニッ コー東京台場 Web 開催
2020.9.29	進行肺癌に対する手術 治療の有効性の検討	井上政昭	近石泰弘 本多陽平 吉田順一	第 37 回日 本呼吸器外 科学会学術 集会	Web 開催
2020.9.29	当科における術前化学 療法の有効性と忍容性 の検討	近石泰弘	井上政昭 本多陽平 安田大成 吉田順一	第 37 回日 本呼吸器外 科学会学術 集会	Web 開催
2020.9.29	非小細胞肺癌術後 5 年 以上経過後に晩期再発 を認めた 3 例の検討	本多陽平	近石泰弘 井上政昭 吉田順一	第 37 回日 本呼吸器外 科学会学術 集会	Web 開催
2020.10.15	[Opening remarks]	井上政昭		下関肺がん 講演会	海峡メッセ 下関
2020.10.29-31	発症から 2 日以上の時 間が経過していたが腸 管切除を回避できた大 網裂孔ヘルニアの一例	木幡亮	持留直希 中村睦 田村徹郎 宮竹英志 中原千尋 大谷和広 石光寿幸 牧野一郎	第 82 回日本 臨床外科学 会総会	大阪国際 会議場 Web 開催

			吉田順一		
2020.11.12-14	当科において小細胞肺癌に対して CE療法に atezolizumab の併用療法 を施行した症例の検討	近石泰弘	井上政昭 草薙佳澄 吉田順一	第61回日本 肺癌学会学 術集会	(岡山市)
2020.11.12-14	EGFR T790M 変異陽性 肺癌の治療成績	井上政昭	近石泰弘 草薙佳澄 吉田順一	第61回日本 肺癌学会学 術集会	(岡山市)
2020.11.12-14	EGFR 遺伝子変異陽性 進行肺癌に対する治療 状況に関する前向きレ ジストリ研究		井上政昭 (CS-Lung-003 研究グループ)	第61回日本 肺癌学会学 術集会	(岡山市)
2020.11.12-14	ドライバー変異陰性非 小細胞肺癌に対する免 疫チェックポイント阻 害剤の実態調査		井上政昭 (CS-Lung-003 研究グループ)	第61回日本 肺癌学会学 術集会	(岡山市)
2020.11.12-14	EGFR 遺伝子変異陽性 肺癌症例における再生 検の状況		井上政昭 (CS-Lung-003 研究グループ)	第61回日本 肺癌学会学 術集会	(岡山市)
2020.11.12-14	免疫チェックポイント 阻害薬治療中インフル エンザワクチン接種の 安全性を検討するた めの前向き観察研究		井上政昭 (岡山肺癌 研究会)	第61回日本 肺癌学会学 術集会	(岡山市)
2020.11.12-14	肺癌レジストリ (CS-Lung-003) 研究デザインと現状		井上政昭 (CS-Lung-003 研究グループ)	第61回日本 肺癌学会学 術集会	(岡山市)
2020.11.20	術前化学療法中に巨大 心房内血栓症を合併し た局所進行乳癌の1例	中村睦	石光寿幸 木幡亮 持留直希 田村徹郎 宮竹英志 中原千尋 大谷和広 牧野一郎 吉田順一 田中雅夫	第56回北九 州乳癌カン ファレンス	リーガロ イヤルホ テル小倉 (北九州市)
2020.11.27-28	消化管穿孔に起因する 枯草菌 <i>Bacillus subtilis</i> 菌血症の3例	田村徹郎	吉田順一 菊池哲也	第33回日 本外科感染 症学会総会	Web 開催

				学術集会	
2020.11.27-28	Clostridioides difficile 感染症：ベズロトクスマ ブによる治療	吉田順一	田村徹郎	第33回日本 外科感染症 学会総会学 術集会	Web 開催
2020.12.10	COVID-19 疑い患者診 察のポイント	吉田順一		令和2年度 下関市立市 民病院地域 医療研修会 -COVID-19 について-	下関市立 市民病院 Web 開催

<論文>

発表年	表 題	著書等	共同著者等	雑誌・巻・ページ
2020	Prospects for the future of epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitors in combination with bevacizumab	Yasuhiro Chikaishi	Fumihito Tanaka Yohei Honda Masaaki Inoue Junichi Yoshida Masao Tanaka	Translational Cancer Research 9(3)1307-1310
2020	Mortality related to drug-resistant organisms in surgical sepsis-3:an8-year time trend study using sequential organ failure assessment scores	Junichi Yoshida	Tetsuro Tamura Kazuhiro Otani Masaaki Inoue Eiji Miyatake Toshiyuki Ishimitsu Chihiro Nakahara Masao Tanaka	European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases 40(3)535-540
2020	臨床から論文へ、そして「ガイ ドラインに残る仕事」へ： Plan-Do-Check-Act(PDCA) 好 循環を	吉田順一	長瀬智信 大谷和広	感染症学雑誌 94(5)784-785